

全国高校化学グランプリ 2006

実施報告書

主催	夢・化学－21 委員会
	日本化学会化学教育協議会
特別協賛	科学技術振興機構
後援	文部科学省・経済産業省

目 次

1. まえがき

.....	1
-------	---

2. 全国高校化学グランプリ 2006 の記録

2-1	実施記録.....	2
2-2	一次・二次選考アンケート集計結果	3
2-3	入賞者一覧	8
2-4	優秀賞受賞者の言葉.....	10
2-5	まとめ - 一次・二次選考の結果と講評	
2-5-1	一次選考	15
2-5-2	二次選考.....	20

3. 国際化学オリンピック (IChO)

第 38 回国際化学オリンピックの報告

-金メダル 1 名, 銀メダル 3 名受賞- -2010 年, 日本で開催が決定-

(化学と教育, 54, 8, pp.462-463(2006)より転載)	24
--	----

4. 資料

4-1	報道記事リスト.....	26
4-2	収支計算書	32

1 まえがき

本冊子は、年に一度の高校生の化学の競技会として、夢・化学-21 事業の一環として日本化学会化学教育協議会内の化学グランプリ・オリンピック委員会が運営している「全国高校化学グランプリ 2006」の実施状況をまとめたものである。

今年で 9 回目を迎えた全国高校化学グランプリ(以下化学グランプリ)は、全国の 30 会場で 1,318 名の高校生の参加のもと 7 月 17 日(月)の海の日に一次選考が実施された。会場数は年々増加しており、ここ数年頭打ちであった参加者数も今年は 100 名程度の増加が見られた。一次選考の成績上位者のうち 61 名が 8 月 19 日(土)に東京工業大学大岡山キャンパスで実施された二次選考に進出し、実験問題に挑戦した。そして総合成績により優秀賞 5 名、金賞 16 名、銀賞 19 名、銅賞 21 名がそれぞれ選ばれた。また、本グランプリは国際化学オリンピックの代表選考も兼ねており、来年ロシアで開催される第 39 回大会の代表候補として、1, 2 年生の成績優秀者の中から 9 名を選定した。今後は本委員会内のオリンピック・ワーキング・グループにより訓練体制が整えられ、来年の春に最終的な代表4名を決定し、さらに訓練を重ねて国際化学オリンピックに送り出すことになっている。

国際大会での日本の代表選手たちの活躍により、国内大会である化学グランプリの知名度も上がりつつあるが、グランプリの参加者のうち 6 割近くが国際大会出場とは関係のない 3 年生であることを考えると、国内大会が単なる国際化学オリンピック代表選考会と受けとられぬよう、化学グランプリとしての評価を高めてゆく必要があるだろう。いくつかの大学では、化学グランプリの成績を取り入れた特別な入試制度を設けており、このことは、従来の入学試験とは傾向の違った、思考力を重視する化学グランプリの問題づくりが評価されている結果といえるのではないか。このような大学の取り組みは化学グランプリにとって大変心強い。

また、2010 年の国際化学オリンピックの日本開催が正式に決定し、その準備に向けて動き始めているところであるが、これは化学グランプリの裾野の拡大にも大きなチャンスである。現在の会場数をさらに増やし、各都道府県に少なくとも 1 つ以上の会場を設置し、参加しやすい環境づくりが急務であると考えている。科学技術振興機構(JST)を通じた国からの支援も、財政面だけに留まらず、教育現場への参加者数拡大の働きかけにまで及び始めた。これを追い風として、高校生をはじめ、さらに若年層にまで化学の楽しさ、素晴らしさを普及させていくためにも、本委員会の任務はますます重要なものになると受けとめている。

最後に、今年度の化学グランプリが無事実施できたことに対して、一次選考にご協力いただいた各支部の会場担当者の皆様、二次選考の会場を担当していただいた東京工業大学の関係者の皆様、そして「学びんピック」の認定をはじめ財政面での援助をいただいた文部科学省、経済産業省、科学技術振興機構、夢化学-21 委員会の皆様に深く感謝するとともに、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、心からお願い申し上げる次第である。

平成 18 年 11 月
日本化学会化学教育協議会
化学グランプリ・オリンピック委員会
委員長 杉村 秀幸

2 全国高校化学グランプリ 2006 の記録

2-1 実施記録

昨年に引き続き、全国規模で第 8 回を第 39 回国際化学オリンピック(39th IChO)への代表選抜を兼ねて開催した。

夢・化学-21 委員会主催(主催団体:(社)日本化学会, (社)化学工学会, (社)新化学発展協会, (社)日本化学工業協会)により, 日本化学会化学教育協議会が中心となり, 『化学グランプリ・オリンピック委員会』の中に「運営担当 WG」, 「作題担当 WG」, 「オリンピック訓練担当 WG」, 「広報担当 WG」, 「報告書作成 WG」, 「普及 WG」の 6WG を設置し, 会合を重ねながら実施した。

◆化学グランプリ・オリンピック委員会

第 1 回 平成 18 年 3 月 10 日(金)	於: 日本化学会会議室
第 2 回 平成 18 年 6 月 16 日(金)	於: 日本化学会会議室
第 3 回 平成 18 年 11 月 18 日(土)	於: 日本化学会会議室

◆作題担当 WG

一次選考問題作成

第 1 回 平成 18 年 1 月 27 日(金)	於: 日本化学会会議室
第 2 回 平成 18 年 3 月 10 日(金)	於: 日本化学会会議室
第 3 回 平成 18 年 4 月 21 日(金)	於: 日本化学会会議室
第 4 回 平成 18 年 6 月 2 日(金)	於: 日本化学会会議室
第 5 回 平成 18 年 6 月 16 日(金)	於: 日本化学会会議室

二次選考問題作成

第 1 回 平成 18 年 5 月 1 日(月)	於: 東京工業大学
第 2 回 平成 18 年 7 月 12 日(水)	於: 東京工業大学
第 3 回 平成 18 年 8 月 15 日(火)	於: 東京工業大学

◆全国高校化学グランプリ 2006

<u>一次選考</u> 平成 18 年 7 月 17 日(月)	於: 全国 30 会場
採点会 平成 18 年 7 月 24 日(月)	於: 日本化学会会議室
参加者総数: 合計 1318 名	
<u>二次選考</u> 平成 18 年 8 月 19 日(土)	於: 東京工業大学
採点会 平成 18 年 8 月 21 日(日)	於: 東京工業大学
参加者数: 合計 61 名	

◆普及 WG

第 1 回 平成 18 年 10 月 13 日(金)	於: 日本化学会会議室
----------------------------	-------------

◆表彰式および国際化学オリンピック代表候補認証式

平成 18 年 11 月 18 日(土)	於: 化学会館ホール
----------------------	------------

2-2 一次・二次選考アンケート集計結果

一次選考参加者へのアンケートと回答結果

開催:平成 18 年 7 月 17 日

参加者数:1318 名, アンケート回答者数 1310 名

参加地域および学年

	合計	1 年	2 年	3 年	不明
札幌	20	6	6	8	0
旭川	8	3	3	1	1
青森	23	6	7	9	1
秋田	0	0	0	0	0
岩手	60	2	22	36	0
山形	19	0	4	15	0
仙台	74	0	27	47	0
福島	53	9	21	23	0
東京	205	41	73	83	8
岐阜	40	11	19	10	0
名古屋	155	22	39	90	4
松本	51	2	9	40	0
富山	50	6	5	37	2
金沢	40	9	20	11	0

	合計	1 年	2 年	3 年	不明
大阪	125	38	26	59	2
岡山	45	2	16	27	0
松山	48	4	10	34	0
広島	39	3	16	20	0
福岡	38	1	9	27	1
佐賀	27	0	12	14	1
長崎	13	0	10	3	0
大分	4	0	4	0	0
熊本	20	0	4	16	0
宮崎	97	0	28	67	2
鹿児島	41	2	5	29	5
沖縄	10	0	10	0	0
不明	5	1	1	1	2
総計	1310	168	406	707	29

(1) 全国高校グランプリを, 何で知りましたか。

	1 年	2 年	3 年	無回答	合計
先生	127	306	610	15	1058
ポスター	15	34	38	6	93
友人・知人	7	41	40	5	93
新聞・雑誌	4	2	3	1	10
インターネット	7	12	7	1	27
その他・無回答	8	11	9	1	29
合計	168	406	707	29	1310

(2) 参加しようと思った動機は? (複数回答)

	1 年	2 年	3 年	無回答	合計
面白そうだったから	49	159	257	3	468
化学が好きだから	53	126	230	2	411
化学が得意だから	5	18	48	4	75
去年も参加したから	2	57	116	1	176
先生や友人に勧められたから	85	183	314	3	585
全国大会に出たいから	2	5	31	1	39
自分の力を試したいから	31	94	168	6	299
国際化学オリンピックに出たいから	5	21	4	2	32
勉強になると思うから	47	120	188	2	357
パソコンがほしいから	13	13	48	2	76
その他・無回答	17	10	37	0	64
合計	309	806	1441	26	2582

<その他理由>

東京に行きたいから	1	大学見学のため	1	電卓がほしいから	1
部活行事	3	成績のため	1	学校の強制	1
AO 入試の優遇	1	単位がもらえるから	1	志望大学が試験会場	1
兄も参加したから	1	世界に名をとどろかせたい	1	暇だったから	3
		先生にだまされた	1	モスクワに行きたかった	1

(3) 一次選考は全体としていかがでしたか？

	1年	2年	3年	無回答	合計
易しかった	0	4	13	1	18
予想通り	17	65	168	4	254
難しかった	50	130	253	10	443
非常に難しい	100	198	261	10	569
無回答	1	9	12	4	26
合計	168	406	707	29	1310

(4) 各問題は難しかったですか？

問題 1	1年	2年	3年	無回答	合計
易しい	4	10	23	1	38
普通	24	80	172	7	283
難しい	73	189	325	14	601
非常に難しい	67	126	184	5	382
無回答	0	1	3	2	6
合計	168	406	707	29	1310

問題 2	1年	2年	3年	無回答	合計
易しい	1	14	25	1	41
普通	14	56	150	4	224
難しい	55	149	306	10	520
非常に難しい	97	183	219	13	512
無回答	1	4	7	1	13
合計	168	406	707	29	1310

問題 3	1年	2年	3年	無回答	合計
易しい	5	21	34	2	62
普通	15	64	154	4	237
難しい	54	163	295	9	521
非常に難しい	94	155	220	13	482
無回答	0	3	4	1	8
合計	168	406	707	29	1310

問題 4	1年	2年	3年	無回答	合計
易しい	0	2	4	0	6
普通	1	5	28	6	40
難しい	17	83	218	9	327
非常に難しい	150	314	451	11	926
無回答	0	2	6	3	11
合計	168	406	707	29	1310

(5) 各問題で取り扱っている化学的内容はいかがでしたか？

問題 1	1年	2年	3年	無回答	合計
興味が持てる	95	242	336	7	680
普通	45	116	280	13	454
つまらない	4	16	32	3	55
わからない	23	31	52	2	108
無回答	1	1	7	4	13
合計	168	406	707	29	1310

問題 2	1年	2年	3年	無回答	合計
興味が持てる	92	244	404	13	753
普通	34	93	213	7	347
つまらない	9	11	31	4	55
わからない	32	56	54	2	144
無回答	1	2	5	3	11
合計	168	406	707	29	1310

問題 3	1年	2年	3年	無回答	合計
興味が持てる	91	202	320	11	624
普通	41	130	272	10	453
つまらない	5	29	46	4	84
わからない	30	43	68	2	143
無回答	1	2	1	2	6
合計	168	406	707	29	1310

問題 4	1年	2年	3年	無回答	合計
興味が持てる	43	98	175	7	323
普通	45	134	282	12	473
つまらない	19	60	99	5	183
わからない	61	112	149	3	325
無回答	0	2	2	2	6
合計	168	406	707	29	1310

(6) 来年も挑戦したいですか？

	1年	2年	無回答	合計
はい	101	248	13	362
いいえ	17	21	5	43
何とも言えない	49	133	8	190
無回答	1	4	3	8
合計	168	406	29	603

(7) 「国際化学オリンピック」について知っていましたか？

	1年	2年	3年	無回答	合計
グランプリを知るより前	33	55	98	3	189
グランプリを知るのと同じまたはその後	116	309	513	13	951
今日初めて知った	18	42	86	11	157
無回答	1	0	10	2	13
合計	168	406	707	29	1310

(8) 感想・その他

難易度に関するもの

難しかった	138
去年より簡単	1

問題の内容に関するもの

おもしろかった	86	記述を増やしてほしい	2
勉強になった	8	おもったよりできた	1
簡単にしてほしい	2	計算が多い	4
問題が多い	3	文系でも解ける問題があつてよかった	1
問題文が難しい	1	記号問題がなくなったのはつらい	1
文章が多い	1	予想とは異なっていた	1
独立した問題にほしい	1	化学史が面白かった	1
新しい分野の問題が少ない	1	やりがいがあった	1
難易度に差がある	1	県によっては学習していない問題がある	1
計算用紙を増やしてほしい	1	問題文の説明は丁寧だった	1

時間に関するもの

時間が足りない	48
時間が長すぎ	14
休憩がほしい	1
時間は十分だった	1

その他(抜粋)

化学に興味があった	9	名古屋大学でやりたかった	2
もっと勉強しようと思った	13	地球の表面積がわからない	1
いい経験になった	21	大学で化学を早く学びたい	1
来年も受けたい	18	長野を会場にほしい	3
計算機がうれしい	14	最初の説明があつてよかった	1
疲れた	9	学校のテストと異なつて楽しかった	6
来年はパソコンを狙う	6	過去問にも取り組みたい	3
まさに夢化学	1	途中退出を不可にほしい	1
高校に案内がほしい	1	無料で参加できたことが良かった	2
2次の定員を増やしてほしい	1	来年はがんばりたい	2
会場が暑い(寒い)	8	関数電卓を使いたかった	2
もっと大規模にやるべき	1	無理	2
もっと広めるべき	2	今後の役に立つと思う	1
グループでやりたい	1	参加してよかった	1
来年までに勉強しよう	1	時計がほしい	1
兵庫, 神戸にも会場がほしい	1	途中で飽きた	1
新潟にも会場がほしい	1	解答用紙は半分の大きさでいい	1

二次選考参加者へのアンケートと回答結果

開催:平成 18 年 8 月 18 日

参加者数:61 名, アンケート回答者数:57 名

(1) 今回の二次選考(実技)の難易度や内容はどうでしたか(複数回答)?

「難易度に関するもの」

難しかった	24
適度な難易度・二次試験としてふさわしい	21
時間が足りなかった	17
実験に手間取った・失敗した.	5

「内容に関するもの」

面白い内容だった・初めて行う実験で興味深かった	12
過去問と異なり, 慣れない内容で飲み込むのに時間がかかった	11
実験の計画が難しい	9
ボリュームが多すぎ・退屈・面倒	7
暗記力を問うものでなく, 操作を見るには適当・反応は簡単	4
最後まで飽きずにできた	3
内容が濃かった	3
背景が丁寧に説明されており, レポートの書式がまとめやすくなっていた	2
今年のオリンピック問題の影響を受けている	2

(2) 今後このような実技にはどんなテーマがふさわしいと思いますか(複数回答)?

定性分析全般	15
学校ではやらない実験・高校の範囲外(背景を説明した上で)	10
パズルの・思考力を問う・解き方が色々あるもの	7
環境問題・新エネルギーに関するもの(電池などを含む)	6
推理能力・実験能力・考察能力を総合的に問うもの	6
有機合成	4
身近なテーマで初心者でもしっかりできるもの	4
高分子	3
定量分析	3
合金に関するもの	2
有機・無機の混合問題	1
分離・精製	1
生命科学に関すること	1

(3) その他感想を自由に書いてください(抜粋)

面白かった, 楽しかった, 貴重な体験をした	16
暑かった・ゴーグルが曇った(曇り止めが欲しい)	11
スペースが広く実験しやすかった	4
監督員・補助員の対応が良かった	3
実験は慣れてないと難しい. もっと勉強してくればよかった	3
疲れた・実験には知識だけでなく, 体力・気力も必要だとわかった	4
実験が久しぶりで楽しかった, 良かった	2
もう一度挑戦したい	2
もう少し広い実験台が欲しい	2
雰囲気固かった・緊張した	2
化学に対する自信がついた	1
実験時間が長くなってよかった	1
ぜひ続けて欲しい	1
解答例には納得できない部分もあった	1

2-3 入賞者一覧

優秀賞

青木 和哉	私立甲陽学院高等学校(兵庫県)	3 年
大高 一樹	香川県立高松高等学校(香川県)	3 年
角田 翔太郎	筑波大学附属駒場高等学校(東京都)	2 年
浅羽 太郎	私立大阪星光学院高等学校(大阪府)	3 年
賀川 拓哉	私立白陵高等学校(兵庫県)	3 年

金 賞

山口 一樹	静岡県立清水東高等学校(静岡県)	2 年
泉 克明	私立大阪星光学院高等学校(大阪府)	3 年
佐藤 克典	宮城県仙台第二高等学校(宮城県)	3 年
永松 佑恵美	私立明治学園高等学校(福岡県)	3 年
吉良 遼一	私立池田高等学校(鹿児島県)	3 年
佐藤 祐希	福島県立安積高等学校(福島県)	3 年
岩村 宗千代	私立白陵高等学校(兵庫県)	3 年
野口 優輔	私立創価高等学校(東京都)	3 年
佐藤 正紀	私立創価高等学校(東京都)	3 年
久田 隼人	私立開成学園高等学校(東京都)	3 年
内田 芳裕	山口県立山口高等学校(山口県)	3 年
田代 諭拡	私立古川学園高等学校(宮城県)	3 年
村上 達彦	私立広島学院高等学校(広島県)	3 年
新庄 紘和	宮城県仙台第三高等学校(宮城県)	3 年
里見 彰彦	滋賀県立彦根東高等学校(滋賀県)	3 年
那須 康輝	山形県立山形東高等学校(山形県)	3 年

銀 賞

上田 雅道	私立白陵高等学校(兵庫県)	3 年
松岡 裕哉	愛知県立一宮高等学校(愛知県)	3 年
田中 成	私立開成学園高等学校(東京都)	2 年
友田 翼	私立大阪星光学院高等学校(大阪府)	3 年
入江 翔一	私立灘高等学校(兵庫県)	3 年
坂下 竜一	福岡県立修猷館高等学校(福岡県)	3 年
水野 泰孝	静岡県立磐田南高等学校(静岡県)	2 年
廣井 卓思	筑波大学附属駒場高等学校(東京都)	2 年
酒谷 彰一	富山県立高岡高等学校(富山県)	3 年
五十部 学	私立栄光学園高等学校(神奈川県)	3 年
水口 菜々子	私立志學館高等部(鹿児島県)	3 年
橋浦 公一	岩手県立盛岡第一高等学校(岩手県)	3 年
市川 雄一	私立麻布高等学校(東京都)	3 年
小島 卓也	愛知県立一宮高等学校(愛知県)	3 年
間瀬 崇史	私立麻布高等学校(東京都)	3 年

福森 久友	私立麻布高等学校(東京都)	3 年
佐藤 弘幸	静岡県立清水東高等学校(静岡県)	3 年
太田 努	私立栄光学園高等学校(神奈川県)	3 年
楊井 理信	山口県立山口高等学校(山口県)	3 年

銅 賞

酒井 克	富山県立高岡高等学校(富山県)	3 年
奈須 義総	熊本県立済々黌高等学校(熊本県)	3 年
田中 隆文	私立白陵高等学校(兵庫県)	3 年
今井 正樹	富山県立高岡高等学校(富山県)	3 年
丸田 貴瑛	福岡県立修猷館高等学校(福岡県)	3 年
細見 拓郎	大阪府立生野高等学校(大阪府)	1 年
松本 暢明	愛媛県立今治西高等学校(愛媛県)	3 年
笹田 直利	静岡県立清水東高等学校(静岡県)	3 年
吉野 匠	私立開成学園高等学校(東京都)	3 年
太田 祐介	私立穎明館高等学校(東京都)	3 年
片桐 悠自	私立洛南高等学校(京都府)	2 年
佐藤 達也	長岡工業高等専門学校(新潟県)	3 年
河口 真志	京都府立嵯峨野高等学校(京都府)	3 年
館農 悠紀	石川県立七尾高等学校(石川県)	2 年
水向 祐樹	岐阜県立大垣北高等学校(岐阜県)	3 年
小山 瑛	私立白陵高等学校(兵庫県)	3 年
晴永 祐輔	佐賀県立佐賀西高等学校(佐賀県)	2 年
小出 博仁	長岡工業高等専門学校(新潟県)	3 年
岩田 陽一	愛知県立一宮高等学校(愛知県)	3 年
越智 琢正	愛媛県立西条高等学校(愛媛県)	3 年
秋光 齐家	愛媛県立今治西高等学校(愛媛県)	3 年

第 39 回国際化学オリンピック代表候補

角田 翔太郎	筑波大学附属駒場高等学校(東京都)	2 年
山口 一樹	静岡県立清水東高等学校(静岡県)	2 年
田中 成	私立開成学園高等学校(東京都)	2 年
水野 泰孝	静岡県立磐田南高等学校(静岡県)	2 年
廣井 卓思	筑波大学附属駒場高等学校(東京都)	2 年
細見 拓郎	大阪府立生野高等学校(大阪府)	1 年
片桐 悠自	私立洛南高等学校(京都府)	2 年
館農 悠紀	石川県立七尾高等学校(石川県)	2 年
晴永 祐輔	佐賀県立佐賀西高等学校(佐賀県)	2 年

2-4 優秀賞受賞者の言葉

化学グランプリに参加して

私立甲陽学院高等学校 3 年 青木 和哉

今回の化学グランプリは会心の出来でした。一次試験の自己採点では8割を超えていたし、二次試験でも自分なりに要点をおさえたレポートが書けたので、かなりいい成績が取れるような気がしていました。それでも一次・二次共に最高点というのは予想外で、結果を受け取ったときには心からうれしく思いました。

化学グランプリに参加するのは二度目ですが、今年もテーマとしてはとても興味深いものばかりだったと思います。ただ、去年の経験から一次試験は時間の割に問題が多いことが分かっていたので、試験中は化学的な理解を後回しにして、機械的な処理を優先せざるを得ませんでした。誘導がかなり丁寧で、解答欄には答えしか書かなくてよいというのも印象的でした。そのため文章を読みながら重要な部分に線を引いていくとそれだけで解けてしまう問題もあり、かなり国語的な要素が強かったように思います。二次試験は逆に問題の趣旨をきちんと理解しないと試薬が足りなくなったり誤差が増えたりして失敗するというかなり厳しいものでした。特に今回は反応が終わるまでの待ち時間が長かったので、いかに効率的にその時間を使うかという点で苦労しました。意外に大変だったのが安全ピペッターの操作でした。何十回もバルブを押さなければならないのでそのうち握力がなくなってきます。まさに実験は体力勝負であるということを思い知らされました。

化学グランプリに参加することで化学の面白さを再認識することができました。将来の進路についてはまだあまり細かいところまで決めていませんが、様々な分野をもっと深く学んだ上で最終的に進む道を選んでいこうと思っています。

これから化学グランプリに参加される皆さんへのメッセージです。この大会のように全国から化学好きの人が集まることはめったになく、参加するだけでも十分に意義があると思います。ただし、上のステージに進むためにはある程度の準備が必要です。特に二年生以下の場合有機化学の経験の有無だけで勝負が決まりがちなので、この分野を先取りしておくことをおすすめします。実際、去年は有機化学で点数が取れなくてボーダーをぎりぎりで割ってしまい、とても悔しい思いをしました。IChO を目指すくらいなら夏までに全範囲をやっておけということなのでしょうが、これはかなり厳しい要求だと思います。一方、三年生は二次試験より先のステップがなく少し魅力に欠ける気もしますが(現に三年の IChO 代表選手はたいてい参加していない気がします)、化学を純粋に楽しむという点では非常にいい大会だと思います。

最後になりましたが化学グランプリを支えてくださった皆さま、このような素晴らしい経験をさせていただきありがとうございました。

全国高校化学グランプリ2006に参加して

香川県立高松高等学校 3 年 大高 一樹

昨年参加したときは予選落ちだったにもかかわらず、今年はいきなり優秀賞を頂いて本当に驚きました。さらに、ある日突然地元の新聞社の取材が来て、妙に大袈裟な記事が掲載されたので、また驚いてしまいました。とは言っても、過去の受賞者の方々の感想を読むと、「驚いた」という感想が圧倒的に多いように感じられます。これはおそらく、昨年の私のように、先生に勧められて勉強の目的で、もしくは、今年の私のように、ただ純粋に楽しむ目的で参加している人が殆どで、最初から賞を狙っているという人が少ないからではないかと思います。事実、私は、当日の問題が上手く解けたという自信はありませんでしたが、1 次・2 次審査ともに、あの中で一番化学を楽しんだ自信があります。

私が化学という教科に本格的に傾倒し始めたのは、高校に入ってからだと思います。もちろん、小中高と、素晴らしい科学(理科)の先生方に会えて、その中でも化学への興味を増したということもあるのですが、特に高校に入って私に大きな影響を与えたものは「ケミカルガーデン現象」だと思います。これについては、化学の教科書などに掲載されていて、ご存知の方も多いと思いますが、端的にいうと、ケイ酸ナトリウムの水溶液に様々な重金属塩の結晶を入れると、その種類によって、「色とりどりの草木のようなもの」が見る見るうちに勝手に成長していく、という簡単な現象です。少し大袈裟なようですが、この現象が、私が化学に対して持っていた漠然としたイメージのいくつかを簡単に破壊しました。それは、まず、「化学は『無機的』である」ということ(この反応は無機化合物しか使わないのに、見掛けは『有機的』に感じられます)、そして「化学反応の結果できたものに自発的な私たちは存在しない」ということ、さらには「化学反応に速いか遅いかなんてない」ということです。つまり、化学というのは、私たちが思っているよりずっと神秘的で、しかも明快であるということを垣間見たというわけです。この、「ケミカルガーデン現象」を見て影響を受けた人は他にも結構居るのではないかと思います。

これからの進路ということですが、やはり大学へ進学して、化学の道に進みたいと考えています。そのために今すべきことは受験勉強、といったところでしょうか。

化学グランプリの素晴らしいところは、まず楽しいこと、そして、とても勉強になることです。ですから、後輩の皆さんも、とりあえず、この化学グランプリに参加してみてください。化学のみならず、一つのことに興味を持って取り組むきっかけになるとと思います。

最後になりましたが、まず、この化学グランプリの運営をしてくださっている先生方にお礼申し上げます。また、ご指導頂いた理学部顧問・化学科の先生、色々と助言をくれ、応援して頂いた我が理学部の先輩・同輩・後輩、友人諸氏、そして受賞を祝福してくれた全ての人にお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

全国高校化学グランプリに参加して

筑波大学附属駒場高等学校 2 年 角田 翔太郎

初の化学グランプリの参加で、優秀賞という最高の賞をいただけたことを非常にうれしく思っています。しかし、正直に言うと自分がこのような賞を取れるなんて夢にも思っていませんでした。

高1や中学生のときから学校で話題に出ていた化学グランプリ。先輩が毎年受けていたり、今年はオリンピックの代表として海外に行くなど、触れる機会がそれなりにあったので、「せっかくだし受けてみるか」という軽い気持ちで受けてみることにしました。そのための勉強としてまず一次試験の過去問を解いてみたのですが・・・「難しい！ここまで丁寧な解説がついているのに解けない！」というのが第一印象でした。今年の問題でもそうでしたが、この化学グランプリの一次試験の問題は解説がついているにも関わらず(だからこそ、かもしれませんが)、頭を捻らせる問題が揃っているように感じます。学校での試験などと違い、一筋縄ではいかない問題に触れられる、このことが非常に新鮮に思いました。

二次試験に関しては、化学部に所属している私には少し有利だったのかも知れません。私が優秀賞を取れたのも、通知の紙を見る限り明らかに二次試験のおかげです。二次の過去問を実際に行って雰囲気を少しでもつかむことができたのも、やはり部活のおかげだと思います。さて、二次試験の内容に関してですが、今年の問題は過去の問題に比べてかなり毛色が異なっていると感じました。例年の実験課題は、ほとんどが有機化合物か無機化合物の定性・定量的実験だったので、私もそこをしっかりと勉強しておけば良いと思っていたのですが、実際に出てきたのは予想もなかった実験。あれは、分析化学というのでしょうか、混合溶液から硝酸性窒素と亜硝酸性窒素それぞれの濃度を求めよ、というような問題。それまでに、無機や有機に関して勉強した知識があまり役に立たなさそうだった上、ppm の単位や安全ピペッターなど慣れないものがあって、実験開始時は正直焦っていました。その焦りのせいか、はじめの 30 分に関しては全く力が出せていなかったと思います。しかし、なぜか途中から落ち着き、落ち着いて考えてみれば解けない問題ではないということに気づき、それからは普段通りの力を出すことができました。日常生活でもよく言われますが、落ち着くことは非常に大切だ、ということをはっきりと実感できました。私は、今年オリンピックの代表候補になることができましたが、選抜試験のとき、また選抜試験に通れたならオリンピック本番のときでも、ここで学んだ「落ち着く」ということの大切さを忘れないように気をつけていきたいと思っています。そしてまた、将来、私は化学関係の道に進むつもりですが、その時まで、しっかりとこのことを覚えておかなければいけないな、とも思いました。

それでは、落ち着きつつ最後に、このような機会を与えてくださった大会関係者の方々、色々とサポートしてくださった先生方、そして、私を応援してくれた化学部をはじめとする友人達に心からの感謝を告げて終わりたいと思います。

全国高校化学グランプリに参加して

私立大阪星光学院高等学校 3 年 浅羽 太郎

今回化学グランプリに参加し、優秀賞をいただくことができたことを大変嬉しく思います。受験生として化学の授業を受け、知識を詰め込み、問題集でやってもいない実験の数値計算ばかりをやっていた私にとって、実際に実験をしてレポートをまとめるというのはとても貴重で楽しい経験でした。

そもそも今年、この大会に参加したのは去年の雪辱を晴らすためでした。去年、もともと化学と数学は得意だった私は結構いいところまでいけるんじゃないかと自惚れて、軽い気持ちで受けたところ完膚なきまでに叩きのめされてしまいました。その後しばらくはそのことも忘れていたのですが、夏が近づき、化学グランプリのポスターが学校に張り出されると「今年こそは！」という気持ちが燃え上がってきました。

一次試験は問題文をよく読めばわかるけど読まなければわからないという、思考力が試されている問題だと思います。解答するのに関係ないような事まで細かく書いてあるのですが、興味深い内容が多くついつい読み込んでしまい、時間はぎりぎりまでかかってしまいました。

二次試験の実験はなぜか例年と違い実験とレポートあわせて四時間になっていました。奇妙に思いながら問題を読み、実験手順や考察内容などがすべて指示されていて特に頭を使うところがなかったので、「今回はきつと時間との戦いに違いない」と勝手に決めつけ、実験の精度もそこそこに…というか完全に無視してどうにか時間内に終わりました。帰りの電車で解答解説を読み、自分の思いもよらなかったことが山のように書いてあるので、もうただただ感心するしかありませんでした。とはいえ実験はとても楽しかったです。

私は化学に限らず数学も物理も生物も理系科目はすべて好きで興味があるので、進路についてとても迷っていました。高3のこの時期に進路が確定していないのはとても不安なのですが化学グランプリで新しく人と出会い、普段できない経験ができたことはとてもプラスになりました。

最後に、この大会は自分の見識を深め、また自分の力を試す絶好の機会です。後輩の皆さんにも化学に興味を持ち、この機会を上手に生かして欲しいと思います。

全国高校化学グランプリ2006に参加して

私立白陵高等学校 3 年 賀川 拓哉

僕が化学グランプリを受けようと思った理由は、高3の時に何かイベントに参加したかったから(これを格好よく言うと「ひと夏のアドベンチャーを求めて」)です。東京に行けたらいいなあ、くらいの気持ちでいたので、優秀賞を取れたのは本当に驚きで、今でも実感がわきません。そして、周囲の人々はもっと信じられないらしく、「奇跡」「偶然」「誤報」などと言われ続け、僕は心に全治3秒くらいの傷を負いました。現在、心の底から(表面上だけでなく)「おめでとう！すごいね！」と言ってくれる人を募集中です。

今回の化学グランプリを受けた率直な感想は「おもしろかった」です。難しい問題を楽しめた人もいるでしょうが、僕にはその余裕がありませんでした。しかし、普段勉強している受験用の化学の根底に存在している、壮大な世界を感じることができる(ただ感じるだけです)ことができ、その意味でおもしろかったです。言うなれば、自分の知らなかった世界に触れる経験を、観光客が旅行を楽しむように楽しめたと思います。

これから化学グランプリを受ける人へ。グランプリには聞いた事さえないような内容が沢山出ますが、焦らずに本当の「化学」を楽しんでください。滅多にできない経験ができるいい機会のはずです。あと一つ、非常に重要なアドバイスがあります。二次試験の時に、間違ってもお土産の袋を持っていけないこと！僕はテストの前の日に秋葉原で大量に買い物をしていたので、お土産で膨らんだアニメイトの袋(DCⅡのクリアポスター入り)を持って会場に入ったら、誰もお土産なんか持っていないませんでした……。いい感じで緊張がほぐれましたが、完全に場違いで空気が読めない奴になっしまい、恥ずかしかったです。

将来は、外科医になるか、免疫の研究をするかのどちらかと決めているので、残念ながら、化学と密接に関わることは無いと思います。ちなみに、優秀賞を取るような人は、「東大を出て研究者」という傾向が強らしく、僕みたいに医学部を目指す人は少ないそうです。そういえば、優秀賞を取ったらどこかの大学からスカウトが来るかと思っていたのですが、未だにそのオファーが無いですね……。残念。

化学の身近さ(何より酸性と酸化の違い)を教えてくださった某塾の某先生、常に化学に対する愛を伝えてくださる白陵が誇る教祖、いや違った、教師の谷川先生、実験の方法や無駄知識を教えてくれたI君、その他サポートしてくれた全ての方々に無上の感謝を。このような機会を与えてくださった関係者の方々にも感謝の念をあらわしつつ、感想を終わります。ホンマに楽しかったです！！

第38回国際化学オリンピックの報告

—金メダル1名、銀メダル3名受賞— —2010年、日本で開催が決定—

国際化学オリンピックの成果

去る7月2日～11日、韓国・慶山で第38回国際化学オリンピックが盛大に開催された。世界67カ国から442名の参加があった。このうち、生徒255名が国際化学オリンピックの問題に挑戦した。昨年夏の全国高校化学グランプリと今年4月の最終選考会を経て選抜された4名の日本代表の生徒らは、今村麻子さん（私立神戸女学院高等学部3年）が金メダル、田中成君（私立開成高等学校2年）、永田利明君（私立開成高等学校3年）、服部陽平君（国立筑波大学附属駒場高等学校3年）の3名が銀メダルを受賞した。帰国後、文部科学省を表敬訪問した時、小坂憲次文部科学大臣からは、オリンピック参加者として初めて、表彰状が授与された。また、文部科学省小田公彦氏、経済産業省安居徹氏、田尻貴裕氏らからもご祝辞を頂いた。



写真1 表彰式直後。左から、永田利明君（銀メダル）、田中成君（銀メダル）、今村麻子さん（金メダル）、服部陽平君（銀メダル）。

プログラムの概要

さて、一行が旅立つ前、7月1日（土）には日本化学会で壮行会が開かれた。生徒らは、文部科学省田中正朗氏、経済産業省渡邊宏氏、そして（独）科学技術振興機構安部元泰氏らの来賓各位から激励を受け、文部科学大臣からは祝電を頂戴した。

翌2日（日）の午後1時50分、韓国航空で成田を出発、午後4時に釜山に到着。このとき、現地では、スタッフの大学生らが各国代表団を待っていた。私たち日本チームを受け持つことになった洪東和さんはきれいな京都弁を話し、最終日ま

で生徒らにつきっきりとなる。タイとロシアの団体と一緒に生徒の寄宿寮までバスで移動。その間、名札などが渡された。名札の色で、参加者の立場がすぐにわかる。午後6時半過ぎに嶺南大学に到着するも、大雨のためバスで待機。しかし、全員にカップが貸出されて移動し、登録手続きを済ませる。登録では不正防止のため誓約書などにサイン。結局生徒と別れたのが午後7時45分過ぎ。生徒らは急いで学食で夕食。付き添い者らは、バスで約1時間ほど離れたHyundaiホテルに移動。時間が遅かったので夕食は弁当となる。



写真2 釜山国際空港到着直後。左から、嶋田豊司（奈良工業高等専門学校）、渡部智博（立教新座中高）、渡辺正（東京大学）、市川朋美（森村学園）、洪東和（Hong Donghwa、日本チーム・スタッフ）、伊藤真人（創価大学）、今村麻子（私立神戸女学院高等学校）、田中成（私立開成高等学校2年）、服部陽平（国立筑波大学附属駒場高等学校3年）、永田利明（私立開成高等学校3年）。

3日（月）は慶山市民会館で開会式、嶺南大学で歓迎会。太鼓の音とともに始まったオープニングにはおおいに盛り上がる。そして、会場には、科学技術大臣（兼副首相）、大韓化学会会長、慶山市長、嶺南大学学長およびその他の官、学、産の代表が来賓として出席、国をあげての大きな行事に位置づけられていることがわかった。

その後は、生徒と付添い者らは別々のプログラムに参加する。生徒らはテコンドーなどの体験、MentorやScientific Observerは実験の試験会場の点検、実験問題の審査会、翻訳、Jury Meeting、そしてGuestらは茶道体験などから始まった。

オリンピック期間中、生徒らは、実験、筆記各5時間の試験の合間には様々な催しに参加。雨などでスケジュールが若干変更されることはあったものの、安東の河回民族村、遊園地、蔚山工業団地や慶州の見学、そして韓国の伝統的な餅つき体験など、メリハリのある忙しい毎日を過ごしていた。



写真3 試験が終了し、Gala Nightで懇談する生徒と関係者。

また、Mentorらのスケジュールも極めて忙しいものであった。実験問題に関する議論、翻訳、筆記問題に関する議論、翻訳、そして採点などが連日のように夜遅くまで続いた。Guestらは、これまでのオリンピックとは異なり、Mentorらの仕事とは一線を画すことが要求された。



写真4 翻訳会場。右手前から渡辺正教授、伊藤眞人教授。

Mentorは、大学の教員、教育省の役人、高校教員、そして元・国際化学オリンピックに参加したという大学院生まで幅広い。一方、Guestには、Mentorと同じような立場の人だけでなく、企業関係者やMentorの家族、そして生徒の保護者らが含まれていた。

各国の事情

いくつかの事例を紹介する。例えば、中国は好き嫌いに関わらず地域ごとの選抜に全ての高校生が受験、マレーシアでは教育省から全国の高校に直接手紙を送り約1万人が国内選抜に参加、ベトナムでは約700名の生徒が国内選抜に参加し、2回の試験で選考するなど、各国の状況に応じて様々な手続きで生徒を選んでいる。選ばれた生徒であるが、スペインのようにオリンピックの選抜試験と大学の入学試験を完全に切り離している国、中国のように4名全員が北京大学に進学が決まっている国、台湾では2名が台湾医科大学、2名がアメリカのMITに決まっているなど様々である。なお、台湾医科大学

やMITの物理への入学予定者は、それぞれ国際生物オリンピックや国際物理オリンピックで1名ずつ金メダルを受賞しているとのこと。また、タイのように、各国の事情を知るため簡単なアンケートを用意していた国もあり、各国の教育事情を知る格好の機会であった。



写真5 生徒の実験台の点検。

オリンピックの運営

特に印象深かったのは、韓国の受け入れ態勢である。スタッフの大学生らは全国の大学に公募し、その中から選抜された者で構成されていた。語学力はもちろんのこと、意識の高さと全ての場面での心配りには目を見張るものがあった。また、試験問題に関わる議論などは、限られた時間の中で物事をまとめていかなければならなかったが、各国の意見を的確に処理する大学の先生方の様子は見事であった。韓国政府や化学業界はもちろん、製鉄会社POSCOやHyundai, Daewooなど国を代表する諸企業の全面的な協力が随所に見受けられた。

本大会で、2010年には日本で国際化学オリンピックを開催することが決まり、日本化学会でロゴの募集が始まった。これほど多数の国々から参加者のある国際的な行事であるからこそ、本学会の会員各位の協力はもちろん、関係省庁や企業などからも幅広く協力をおおぐが必要である。日本が正式に参加して4回目だが、日本での大会を成功裡に導くよう、各方面との協議を始めなければならない。

最後に、韓国の大会関係者はじめ、関係各位へ感謝の意を表し、筆をおきたい。

参考となるサイト

- 1) <http://icho2006.kcsnet.or.kr/>
- 2) <http://icho.csj.jp/>

文責：渡部智博（化学グランプリ・オリンピック委員会 委員）
38回 IChO 韓国大会 日本役員団
Head Mentor 伊藤眞人（創価大学）、Mentor 渡辺正（東京大学）、Scientific Observer 嶋田豊司（奈良工業高等専門学校）、Guest 渡部智博（立教新座中高）、Guest 市川朋美（森村学園）

4-1 報道記事リスト

「全国高校化学グランプリ2006」関連記事掲載一覧

No.	媒体名	媒体社名	掲載日	内容
1	化学工業日報	化学工業日報社	4月24日	グランプリ参加募集
2	読売新聞・愛媛版	読売新聞社	4月25日	〃
3	東京新聞	中日新聞東京本社	5月2日	〃
4	中日新聞・夕刊	中日新聞社	5月2日	〃
5	岐阜新聞	岐阜新聞社	5月2日	〃
6	北陸中日新聞・夕刊	中日新聞社北陸支社	5月6日	〃
7	神戸新聞	神戸新聞社	5月7日	〃
8	朝日新聞・岐阜版	朝日新聞社	5月11日	〃
9	朝日新聞	朝日新聞社	5月19日	〃
10	朝日新聞・都内北部版	朝日新聞社	5月19日	〃
11	朝日新聞・都内南部版	朝日新聞社	5月19日	〃
12	朝日新聞・都内西部版	朝日新聞社	5月19日	〃
13	朝日新聞・東京川の手	朝日新聞社	5月19日	〃
14	朝日新聞・多摩版	朝日新聞社	5月19日	〃
15	朝日新聞・むさしの版	朝日新聞社	5月19日	〃
16	日経サイエンス	日経BP社	5月25日	〃
17	徳島新聞	徳島新聞社	5月26日	〃
18	長野日報	長野日報社	6月6日	〃
19	産経新聞(大阪)	産業経済新聞社	6月11日	〃
20	信濃毎日新聞	信濃毎日新聞社	6月16日	信大などでグランプリ開催
21	産経新聞・山形	産業経済新聞社	6月20日	グランプリ参加募集
22	産経新聞・福島	産業経済新聞社	6月20日	〃
23	富山新聞	富山新聞社	7月11日	グランプリ参加に向け学習
24	神戸新聞	神戸新聞社	7月17日	私立大阪星光学院高校で一次選考会
25	富山新聞	北國新聞社富山支社	7月18日	高岡で一次選考会
26	長野日報	長野日報社	7月18日	化学の甲子園 熱戦スタート
27	日刊工業新聞	日刊工業新聞社	7月21日	オリンピック、グランプリ、実験ショー(産業春秋)
28	日刊工業新聞(大阪)	日刊工業新聞社	7月21日	オリンピック、グランプリ、実験ショー(産業春秋)
29	長野日報	長野日報社	7月27日	松本会場から通過者なし
30	静岡新聞	静岡新聞社	8月25日	磐田南高の水野君が銀賞
31	北國新聞	北國新聞社	8月25日	七尾高の館農君が銅賞
32	北陸中日新聞	中日新聞社北陸支社	8月25日	〃
33	福島民報	福島民報社	8月26日	安積高の佐藤君が金賞
34	南日本新聞	南日本新聞社	8月26日	池田高吉良君が金賞、志学館水口さんが銀賞
35	聖教新聞	聖教新聞社	8月26日	創価高生が金賞
36	化学工業日報	化学工業日報社	8月28日	グランプリ受賞者が決定
37	静岡新聞	静岡新聞社	8月29日	清水東高の3人 金銀銅
38	朝日新聞・静岡版	朝日新聞社	8月30日	〃

4-1 報道記事リスト

「全国高校化学グランプリ2006」関連記事掲載一覧

No.	媒体名	媒体社名	掲載日	内容
39	静岡新聞・静岡遠州版	朝日新聞社	8月30日	〃
40	読売新聞・石川版	読売新聞社	8月31日	七尾高の館農君が銅賞
41	北陸中日新聞	中日新聞社北陸支社	8月31日	〃
42	産経新聞・静岡版	産業経済新聞社	9月4日	清水東高の3人 金銀銅
43	福島民友	福島民友	9月4日	安積高の佐藤君が金賞
44	東京新聞	中日新聞社東京本社	9月5日	グランプリ結果
45	中日新聞・夕刊	中日新聞社	9月5日	〃
46	北日本新聞	北日本新聞社	9月5日	高岡高の酒谷君が銀賞 ほか
47	富山新聞	北國新聞社富山支社	9月5日	〃
48	中国新聞	中国新聞社	9月5日	広島学院高の村上君が金賞
49	四国新聞	四国新聞社	9月5日	高松高の大高君がグランプリ
50	北陸中日新聞・夕刊	中日新聞社北陸支社	9月9日	グランプリ結果
51	京都新聞	京都新聞社	9月9日	洛南高の片桐君が代表候補
52	静岡新聞	静岡新聞社	9月10日	県内で代表候補2人
53	読売新聞(北九州)	読売新聞社	9月12日	県内受賞者紹介
54	読売新聞・福岡版	読売新聞社	9月12日	〃
55	朝日新聞・山形版	朝日新聞社	9月13日	山形東高の那須君が金賞
56	山形新聞・夕刊	山形新聞社	9月14日	〃
57	読売新聞・山口版	読売新聞社	9月20日	山口高の2人が金銀
58	山口新聞	山口新聞社	9月22日	〃
59	岩手日報・夕刊	岩手日報社	10月2日	盛岡一高の橋浦君が銀賞

4-1 報道記事リスト

「国際化学オリンピック」関連記事掲載一覧

No.	媒体名	媒体社名	掲載日	内容
1	化学工業日報	化学工業日報社	4月5日	日本での開催が本格化
2	化学工業日報	化学工業日報社	4月10日	代表決定
3	石油化学新聞	石油化学新聞社	4月10日	〃
4	教育新聞	教育新聞社	4月17日	〃
5	東京新聞	中日新聞東京本社	4月18日	〃
6	中日新聞・夕刊	中日新聞社	4月18日	〃
7	化学工業日報	化学工業日報社	4月18日	科学技術週間セレモニーに鹿又さん、永田さんが参加
8	北陸中日新聞・夕刊	中日新聞社北陸支社	4月22日	代表決定
9	化学工業日報	化学工業日報社	4月24日	科学技術週間セレモニーに鹿又さん、永田さんが参加
10	化学工業日報	化学工業日報社	5月8日	代表4名が強化合宿
11	化学工業日報	化学工業日報社	5月8日	JST、支援事業でロボカップ大会追加
12	朝日新聞	朝日新聞社	6月7日	化学五輪へ最多の高校生
13	朝日新聞(札幌)	朝日新聞社	6月7日	〃
14	朝日新聞(名古屋)	朝日新聞社	6月7日	〃
15	朝日新聞(大阪)	朝日新聞社	6月7日	〃
16	朝日新聞(北九州)	朝日新聞社	6月7日	〃
17	朝日新聞	朝日新聞社	6月10日	理数離れ 企業「待った」 グランプリ・オリンピックの紹介あり
18	朝日新聞(札幌)	朝日新聞社	6月10日	〃
19	朝日新聞(大阪)	朝日新聞社	6月10日	〃
20	毎日新聞	毎日新聞社	6月10日	「科学五輪」、国が支援
21	毎日新聞(札幌)・夕刊	毎日新聞社	6月10日	〃
22	毎日新聞(北九州)・夕刊	毎日新聞社	6月10日	〃
23	福島民友	福島民友	6月10日	〃
24	化学工業日報	化学工業日報社	6月12日	〃
25	読売新聞	読売新聞社	6月25日	〃
26	読売新聞(札幌)	読売新聞社	6月25日	〃
27	読売新聞(名古屋)	読売新聞社	6月25日	〃
28	読売新聞(大阪)	読売新聞社	6月25日	〃
29	読売新聞(北九州)	読売新聞社	6月25日	〃
30	化学工業日報	化学工業日報社	6月26日	科学オリンピック、相次ぎ開催
31	化学工業日報	化学工業日報社	7月3日	化学オリンピック2010年日本開催へ
32	化学工業日報	化学工業日報社	7月4日	化学オリンピック始まる
33	Herald Tribune The Asahi Shinbun	朝日新聞社	7月7日	理数離れ 企業「待った」 グランプリ・オリンピックの紹介あり
34	朝日新聞	朝日新聞社	7月11日	化学五輪 10年に日本初開催
35	朝日新聞(札幌)	朝日新聞社	7月11日	〃
36	朝日新聞(名古屋)	朝日新聞社	7月11日	〃

4-1 報道記事リスト

「国際化学オリンピック」関連記事掲載一覧

No.	媒体名	媒体社名	掲載日	内容
37	朝日新聞(大阪)	朝日新聞社	7月11日	今村さん金メダル
38	朝日新聞(北九州)	朝日新聞社	7月11日	化学五輪 10年に日本初開催
39	毎日新聞	朝日新聞社	7月11日	化学五輪で4人全員メダル
40	毎日新聞(札幌)	毎日新聞社	7月11日	〃
41	毎日新聞(大阪)	毎日新聞社	7月11日	今村さん金メダル
42	読売新聞	読売新聞社	7月11日	〃
43	読売新聞(札幌)	読売新聞社	7月11日	〃
44	読売新聞(名古屋)	読売新聞社	7月11日	〃
45	読売新聞(大阪)	読売新聞社	7月11日	〃
46	読売新聞(北九州)	読売新聞社	7月11日	〃
47	日本経済新聞(大阪)	日本経済新聞社	7月11日	今村さん金メダル
48	東京新聞	中日新聞東京本社	7月11日	化学五輪で金銀
49	秋田魁新報・夕刊	秋田魁新報社	7月11日	今村さん金メダル
50	山形新聞・夕刊	山形新聞社	7月11日	〃
51	信濃毎日新聞・夕刊	信濃毎日新聞社	7月11日	〃
52	神戸新聞	神戸新聞社	7月11日	〃
53	京都新聞	京都新聞社	7月11日	〃
54	高知新聞・夕刊	高知新聞社	7月11日	〃
55	徳島新聞	徳島新聞社	7月11日	〃
56	日刊工業新聞	日刊工業新聞社	7月11日	〃
57	世界日報	世界日報社	7月11日	〃
58	化学工業日報	化学工業日報社	7月11日	〃
59	毎日新聞	毎日新聞社	7月12日	文部科学相を表敬訪問
60	山梨日日新聞	山梨日日新聞社	7月12日	今村さん金メダル
61	大阪日日新聞	大阪日日新聞社	7月12日	〃
62	中国新聞	中国新聞社	7月12日	〃
63	日本海新聞	新日本海新聞社	7月12日	〃
64	日刊工業新聞(大阪)	日刊工業新聞社	7月12日	〃
65	化学工業日報	化学工業日報社	7月12日	文部科学相を表敬訪問
66	読売新聞(東京)	読売新聞社	7月18日	科学五輪(社説)
67	読売新聞(札幌)	読売新聞社	7月18日	〃
68	読売新聞(名古屋)	読売新聞社	7月18日	〃
69	読売新聞(大阪)	読売新聞社	7月18日	〃
70	読売新聞(北九州)	読売新聞社	7月18日	〃
71	日刊工業新聞	日刊工業新聞社	7月18日	小坂文部科学相、化学五輪にご満悦
72	日刊工業新聞(大阪)	日刊工業新聞社	7月18日	〃
73	日刊工業新聞	日刊工業新聞社	7月21日	オリンピック、グランプリ、実験ショー(産業春秋)

4-1 報道記事リスト 「国際化学オリンピック」関連記事掲載一覧

No.	媒体名	媒体社名	掲載日	内容
74	日刊工業新聞(大阪)	日刊工業新聞社	7月21日	〃
75	科学新聞	科学新聞社	7月21日	2010年日本初開催
76	科学新聞	科学新聞社	7月21日	化学五輪メダリスト 文科相を表敬訪問
77	全私学新聞	全私学新聞運営委員会	7月23日	今村さん金メダル
78	化学工業日報	化学工業日報社	7月24日	国際科学オリンピック メダルラッシュ
79	朝日新聞(東京)	朝日新聞社	7月30日	科学技術立国 英才教育に追い風
80	朝日新聞(札幌)	朝日新聞社	7月30日	〃
81	朝日新聞(名古屋)	朝日新聞社	7月30日	〃
82	朝日新聞(北九州)	朝日新聞社	7月30日	〃
83	東京新聞	中日新聞東京本社	8月1日	科学五輪 国が強化へ
84	中日新聞・夕刊	中日新聞社	8月1日	〃
85	現代教育新聞	現代教育新聞社	8月1日	全員メダル獲得
86	化学経済	化学工業日報社	8月1日	10年に日本開催、3大会連続全員メダル
87	北陸中日新聞・夕刊	中日新聞社北陸支社	8月5日	科学五輪 国が強化へ
88	日本経済新聞(東京)・夕刊	日本経済新聞社	8月24日	科学五輪参加者が首相表敬訪問
89	日本経済新聞(名古屋)・夕刊	日本経済新聞社	8月24日	〃
90	日本経済新聞(大阪)・夕刊	日本経済新聞社	8月24日	〃
91	日本経済新聞(北九州)・夕刊	日本経済新聞社	8月24日	〃
92	熊本日日新聞・夕刊	熊本日日新聞社	8月24日	〃
93	朝日新聞(札幌)	朝日新聞社	8月25日	〃
94	朝日新聞(東京)	朝日新聞社	8月25日	〃
95	朝日新聞(名古屋)	朝日新聞社	8月25日	〃
96	朝日新聞(大阪)	朝日新聞社	8月25日	〃
97	朝日新聞(北九州)	朝日新聞社	8月25日	〃
98	朝日新聞(札幌)	朝日新聞社	8月25日	五輪高校生表敬(首相動静)
99	朝日新聞(東京)	朝日新聞社	8月25日	五輪高校生表敬(首相動静)
100	朝日新聞(名古屋)	朝日新聞社	8月25日	〃
101	朝日新聞(大阪)	朝日新聞社	8月25日	〃
102	朝日新聞(北九州)	朝日新聞社	8月25日	〃
103	日本経済新聞(札幌)	日本経済新聞社	8月25日	五輪高校生表敬(首相官邸)
104	日本経済新聞(東京)	日本経済新聞社	8月25日	〃
105	日本経済新聞(名古屋)	日本経済新聞社	8月25日	〃
106	日本経済新聞(大阪)	日本経済新聞社	8月25日	〃
107	日本経済新聞(北九州)	日本経済新聞社	8月25日	〃
108	中日新聞	中日新聞社	8月25日	科学五輪参加者が首相表敬訪問
109	山口新聞	山口新聞社	8月25日	五輪高校生表敬(首相動静)
110	愛媛新聞	愛媛新聞社	8月25日	〃

4-1 報道記事リスト

「国際化学オリンピック」関連記事掲載一覧

No.	媒体名	媒体社名	掲載日	内容
111	世界日報	世界日報社	8月25日	〃
112	化学工業日報	化学工業日報社	8月28日	日本科学五輪委員会 来月にも立ち上げ
113	化学工業日報	化学工業日報社	8月28日	科学五輪参加者が首相表敬訪問
114	読売新聞(札幌)	読売新聞社	9月9日	「男性優位」科学五輪
115	読売新聞(東京)	読売新聞社	9月9日	〃
116	読売新聞(名古屋)	読売新聞社	9月9日	〃
117	読売新聞(大阪)	読売新聞社	9月9日	〃
118	読売新聞(北九州)	読売新聞社	9月9日	〃
119	朝日中学生ウィークリー	朝日学生新聞社	9月17日	科学五輪 金に輝く勉強法(今村さん)
120	朝日新聞(札幌)・夕刊	朝日新聞社	9月22日	日本科学五輪委員会準備
121	朝日新聞(東京)・夕刊	朝日新聞社	9月22日	〃
122	朝日新聞(名古屋)・夕刊	朝日新聞社	9月22日	〃
123	朝日新聞(北九州)・夕刊	朝日新聞社	9月22日	〃
124	日本経済新聞(東京)・夕刊	日本経済新聞社	9月22日	〃
125	日本経済新聞(名古屋)・夕刊	日本経済新聞社	9月22日	〃
126	日本経済新聞(大阪)・夕刊	日本経済新聞社	9月22日	〃
127	日本経済新聞(北九州)・夕刊	日本経済新聞社	9月22日	〃
128	東京新聞・夕刊	中日新聞社東京本社	9月22日	〃
129	岩手日報・夕刊	岩手日報社	9月22日	〃
130	信濃毎日新聞・夕刊	信濃毎日新聞社	9月22日	〃
131	宇部日報	宇部日報社	9月22日	〃
132	毎日新聞	毎日新聞社	9月23日	日本科学五輪委員会準備
133	苫小牧民報	苫小牧民報社	9月23日	〃
134	上毛新聞	上毛新聞社	9月23日	〃
135	常陽新聞	常陽新聞社	9月23日	〃
136	山陰中央新報	山陰中央新報社	9月23日	〃
137	山口新聞	山口新聞社	9月23日	〃
138	四国新聞	四国新聞社	9月23日	〃
139	熊本日日新聞	熊本日日新聞社	9月23日	〃
140	フジサンケイ ビジネスアイ(東京)	日本工業新聞社	9月23日	〃
141	フジサンケイ ビジネスアイ(大阪)	日本工業新聞社	9月23日	〃
142	夕刊デیلیー	夕刊デیلیー新聞社	9月23日	〃
143	世界日報	世界日報社	9月23日	〃
144	化学工業日報	化学工業日報社	9月25日	〃
145	化学工業日報	化学工業日報社	9月25日	化学オリンピック日本委員会 12月発足
145	Sunday世界日報	世界日報社	10月1日	日本科学五輪委員会準備

4-2 収支計算書

自 平成17年4月1日
至 平成18年3月31日

単位:円

区分		予算額	実績額
支出	人件費	8,700,000	8,136,331
	参加登録費	772,000	409,200
	旅費交通費	5,845,000	4,892,064
	通信運搬費	446,000	1,083,543
	印刷製本費	1,764,000	1,947,233
	諸謝金	3,449,000	2,746,612
	会議費	725,000	1,041,876
	会場設営費	3,000,000	1,500,000
	賃借料	167,000	175,500
	表彰費	3,016,000	1,799,365
	臨時雇用費	393,000	364,437
	事務委託費	338,000	542,488
	保険料	16,000	6,100
	消耗品	1,223,000	1,392,414
	資料費	556,000	559,184
	支出 計	30,410,000	26,596,347
収入	独立行政法人 科学技術振興機構支援費 (国際)	7,410,000	7,410,000
	独立行政法人 科学技術振興機構支援費 (国内)	7,250,000	7,250,000
	夢・化学-21委員会より 協賛金	7,050,000	3,800,016
	社団法人 日本化学会	8,700,000	8,136,331
	収入 計	30,410,000	26,596,347

平成 18 年度化学グランプリ・オリンピック委員会委員名簿

委員長

杉村 秀幸(横国大教育)

主査

中村 洋介(群大院工) 相田 隆司(東工大院理工) <作題 WG>

工藤 一秋(東大生産研) <オリンピック WG>

米澤 宣行(東農工大院工) <報告書 WG>

渡辺 正(東大生産研) <広報 WG>

委員

青山 好延(日化協)	小林 將浩(日化)	火原 彰秀(東大院工)
石井 洋一(中央大理工)	小松 隆之(東工大院理工)	廣瀬 修二(アズワールド・コムジャシ)
市川 朋美(森村学園)	小松 寛 (東大附属中等)	福士 顕士(文科省初等中等教育局)
井出 裕子(東京女学館中・高)	齋藤 俊和(早稲田中・高)	舩津 忠正(川越女高/理研)
伊藤 真人(創価大工)	酒井 哲也(東工大院理工)	細矢 治夫(お茶女大名誉)
岩藤 英司(学芸大附属高)	酒井 秀樹(三田高)	本間 敬之(早大理工)
上野 幸彦(早大本庄高)	嶋田 豊司(奈良高専)	前田 直美(品川女学院)
上村 明男(山口大工)	清水 昭夫(創価大工)	前田 義幸(JST)
浦田 浩 (青山学院中・高)	下村 武史(東農工大院 BASE)	町田 茂 (東京高専)
大越 慎一(東大院工)	多賀 圭次郎(名工大院物質)	松岡 雅忠(駒場東邦中高)
小倉 賢 (東大生産研)	高木 春光(広尾高)	真船 文隆(東大院総合文化)
柿本 雅明(東工大院理工)	高橋 正 (東邦大理)	薬袋 佳孝(武蔵大人文)
片岡 正光(小樽商大商)	高松 義一(創価高)	南 久之 (化工会)
片山 靖 (慶應大理工)	田中 義靖(駒場高)	宮本 一弘(開成学園)
香月 義弘(嘉穂高)	谷川 貴信(多摩大目黒高)	森 敦紀 (神戸大工)
神谷 信行(横国大院工)	田沼 務 (上尾南高)	山口 素夫(首都大都市環境)
神原 貴樹(東工大資源研)	内藤 卓哉(東芝研究開発セ)	山田 康洋(東理大理)
北村 真二(日化協)	中込 真 (和洋九段高)	山中 一郎(東工大院理工)
清田 隆雄(ラ・サール高)	中森 建夫(東工大院理工)	山内 辰治(立教新座中・高)
越野 省三(奈良女大附属中等)	中山 亨 (東北大院工)	吉田 哲也(筑波大附駒場高)
小西 玄一(東工大院理工)	西尾 和之(首都大都市環境)	吉村 幸浩(防衛大応用科学)
小林 憲正(横国大院工)	鉦 広頭 (東工大院理工)	渡部 智博(立教新座中・高)

オブザーバー

大野 力 (JSF)	小林 啓一(JST)	中野 良一(JSF)
北原 和夫(ICU)	小林 興 (学芸大名誉)	並木 雅俊(高千穂大)
木幡 雄季(アズワールド・コムジャシ)	土屋 江里(JST)	

顧問

瀬谷 博道(旭硝子(株)相談役)	舘 糾((株)カネカ相談役)
野依 良治((独)理化学研究所理事長)	毛利 衛 (日本科学未来館館長)

事務局

河瀬 裕介 (日化)	富樫 紀子(日化)	(五十音順, 敬称略)
------------	-----------	-------------



「全国高校化学グランプリ」は『学びんピック』認定大会です。

- 発行日:平成 18 年 11 月 10 日
 - 作成者:夢・化学ー21 委員会((社)日本化学会・(社)化学工学会・(社)新化学発展協会・(社)日本化学工業協会), 日本化学会化学教育協議会
 - 連絡先:(社)日本化学会内「全国高校化学グランプリ・国際化学オリンピック」事務局
〒101-8307 東京都千代田区神田駿河台 1-5
電話 03-3292-6164 FAX 03-3292-6318 E-mail: grand-prix@chemistry.or.jp
- | | |
|--------------|---|
| 日本化学会化学教育協議会 | URL http://edu.csj.jp/ |
| 全国高校化学グランプリ | URL http://gp.csj.jp/ |
| 国際化学オリンピック | URL http://icho.csj.jp/ |